

平成20年3月28日

木造住宅の耐震化を推進する「住まいの耐震博覧会・新潟」開催
新潟県内52社の工務店が住まいづくりの相談に対応

■ニュースポイント■

- ・木造住宅の耐震化を推進する住宅関連総合イベント「住まいの耐震博覧会」を4月5～6日の2日間にわたり、新潟市産業振興センターで開催します。同イベントには、有力メーカーによる木材、建材、住宅設備機器などの最新商品の展示のほか、新潟県内の工務店様52社が会場内にブースを出展します。工務店様は商談中のお客様やOB施主を集客し、自社の住まいづくりをアピールするとともに、新築や建て替え、リフォームなど、住まいに関するお悩みや相談に応じます。
- ・木造住宅の耐震化に向けては、兵庫県南部地震や新潟県中越沖地震などの過去に発生した大地震の揺れを免震と非免震で体験できる弊社オリジナルの地震体験車の設置をはじめ、地震に強い家のポイントを再現した模型などで地震に強い住まいづくりについて分かりやすく説明します。このほか、地震の揺れを低減させる「制震装置」や耐震性の高い住宅工法の実物大躯体の展示など、耐震、制震、免震の地震対策を実演や体験型イベントなどを通じ、耐震性に優れた住宅を見て触れて体験いただくことができます。
- ・同イベントを主催するナイス株式会社（平田恒一郎社長、本社：横浜市）は住宅建築用資材の販売事業を行うとともに、「住まいの構造改革」をテーマに掲げ、木造住宅の耐震化の普及・促進に努めております。さらに、松下電工株式会社や大建工業株式会社、株式会社INAX、TOTO株式会社らとともに平成16年に設立した、NPO法人住まいの構造改革推進協会を通じて全国の工務店に対して耐震技術の普及や耐震技術者の認定事業を行い、現在約500社がこの認定を受けて各地で耐震診断・改修事業に取り組んでおります。
- ・耐震性が不足している旧耐震基準で建てられた住宅は未だ全国で約1,150万戸あると言われております。新潟県においては、昨年7月に最大震度6強を観測した新潟県中越沖地震が発生し、住宅に大きな被害が発生しました。特に、被害は昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅に集中しており、このような住宅は現行の耐震基準よりも低いだけでなく、構造が老朽化していることなどで耐震性に不安があります。弊社では、木造住宅の耐震化率の向上に寄与できるよう、同イベントなどを通じて広く耐震化に向けた取り組みをすすめてまいります。

【「住まいの耐震博覧会・新潟」開催概要】

日時：平成20年4月5日(土) 10:00～17:00、6日(日) 10:00～16:00

場所：新潟市産業振興センター（住所：新潟市中央区鐘木185-10）

主催：ナイス株式会社

協賛：木材・建材・住設機器有力メーカー

後援：新潟ナイスパートナー会

ナイスわくわくクラブ

内容：木材、建材、住宅設備機器の最新の製品展示および住宅の耐震化に関する展示

お問い合わせ先

ナイス株式会社 広報室 森、浦木 TEL (045) 501-5048

本社：神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル